

【技術の名称】 ジャスティス工法 －先端翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-15号 改1(更1) 性能証明発効日：2024年3月22日 性能証明有効期限：2027年3月末日 【取得者】 ジャストトレーディング株式会社
---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、細径鋼管に円形拡翼板、推進翼および掘削刃を一体とした特殊部品を溶接接合したものを回転させることによって地盤中に貫入させ、これを杭状地盤補強材（以下、“補強材”と称す）として利用する技術である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第10-15号（2010年8月3日）

改定1：GBRC 性能証明 第10-15号 改1（2021年3月25日）

- ・申込者の変更（富士基礎コンサルタント株式会社の脱退）
- ・本体軸鋼管φ114.3に先端部品仕様を追加

更新：GBRC 性能証明 第10-15号 改1(更1)（2024年3月22日）

【技術開発の趣旨】

本工法は、先端翼付鋼管を用いた補強材の支持力の増大と施工性の向上を意図して開発したものである。本工法に用いる補強材は、受け鋼管を先端拡翼に鉛直接合することで、従来の軸鋼管側面に拡翼を取り付けた補強材に較べて先端拡翼部の剛性を高くでき、かつ、施工に際し補強材先端地盤を乱すことが少ない。さらに、独自形状の推進翼と側面掘削刃を装備することで、施工時の貫入性の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ジャスティス工法 設計・製造・施工基準」に従って製造・施工された補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できること。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

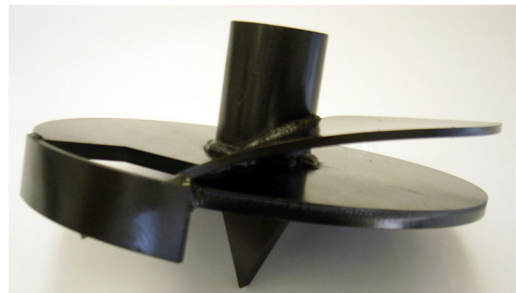


写真-2 先端拡翼



写真-1 施工状況

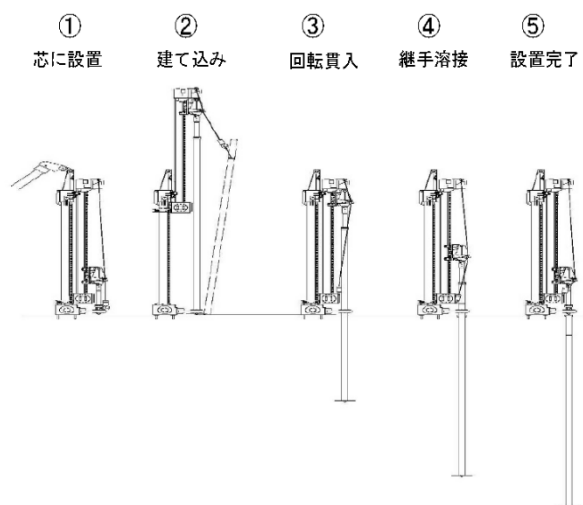


図-1 施工手順

【本技術の問合せ先】

ジャストトレーディング株式会社 技術本部
〒130-0026 東京都墨田区両国 3-19-3 5F

担当者：町田 二玲
TEL：03-5625-4888

E-mail：n.machida@jusone-es.jp
FAX：03-5625-4170